

(別紙 1)

平成 29 年度～平成 33 年度
社会福祉法人越前市社会福祉協議会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 越前市社会福祉協議会	法人番号	3210005008270					
法人代表者氏名	会 長 織 田 桂 藏							
法人の主たる所在地	福井県越前市杉尾町 1-27-1							
連絡先	0778-42-0300							
地域住民その他の 関係者への意見聴取 年月日	平成 29 年 5 月 31 日 (地域協議会から意見書提出 6 月 6 日)							
公認会計士、税理士 等の意見聴取年月日	平成 29 年 6 月 6 日							
評議員会の承認 年月日	平成 29 年 6 月 27 日							
会計年度別の社会福 祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年 度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年 度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年 度末現在)	3 か年度目 (平成 31 年 度末現在)	4 か年度目 (平成 32 年 度末現在)	5 か年度目 (平成 33 年 度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	243,760	233,960	204,720	188,980	151,180	80,580		80,580
うち社会福祉充实事 業費 (単位：千円)		▲9,800	▲29,240	▲15,740	▲37,800	▲70,600	▲163,180	
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費(千円)
1か年度目	社会福祉協働委員会事業	地域公益事業	新規	民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員等の地域福祉活動支援を行う。	無	2,000
	民生委員・児童委員サポート事業	地域公益事業	新規	民生委員・児童委員が、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。	無	1,000
	福祉推進員対策事業	地域公益事業	新規	福祉推進員の地域福祉活動を支援するため、各地区へ助成する。	無	3,700
	生活困窮者支援事業	地域公益事業	新規	生活困窮者等が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。(食料、衣服、日用品等を提供する事業を含む。)	無	1,000
	福祉銀行事業	地域公益事業	新規	生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。	無	900
	越前市地域公益活動推進協議会(仮称)事業	地域公益事業	新規	市内法人と協働して地域公益活動を行う。	無	1,000
	福井県内社会福祉法人連携事業	地域公益事業	新規	県内法人と協働して生活困難者へ支援を行う。	無	200
	小計					
2か年度目	デイサービスセンター芦山環境整備事業	社会福祉事業	新規	デイサービスセンター芦山の老朽化した空調設備を更新し、施設の充実を図る。	無	19,440
	社会福祉協働委員会事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員等の地域福祉活動支援を行う。	無	2,000
	民生委員・児童委員サポート事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員が、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。	無	1,000
	福祉推進員対策事業	地域公益事業	—	福祉推進員の地域福祉活動を支援するため、各地区へ助成する。	無	3,700
	生活困窮者支援事業	地域公益事業	—	生活困窮者等が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。(食料、衣服、日用品等を提供する事業を含む。)	無	1,000

	福祉銀行事業	地域公益事業	—	生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。	無	900	
	越前市地域公益活動推進協議会（仮称）事業	地域公益事業	—	市内法人と協働して地域公益活動を行う。	無	1,000	
	福井県内社会福祉法人連携事業	地域公益事業	—	県内法人と協働して生活困難者へ支援を行う。	無	200	
	小計						29,240
3か年度目	デイサービスセンター芦山環境整備事業	社会福祉事業	—	デイサービスセンター芦山の老朽化した照明をLED化し、施設の充実を図る。	無	5,940	
	社会福祉協働委員会事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員等の地域福祉活動支援を行う。	無	2,000	
	民生委員・児童委員サポート事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員が、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。	無	1,000	
	福祉推進員対策事業	地域公益事業	—	福祉推進員の地域福祉活動を支援するため、各地区へ助成する。	無	3,700	
	生活困窮者支援事業	地域公益事業	—	生活困窮者等が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。（食料、衣服、日用品等を提供する事業を含む。）	無	1,000	
	福祉銀行事業	地域公益事業	—	生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。	無	900	
	越前市地域公益活動推進協議会（仮称）事業	地域公益事業	—	市内法人と協働して地域公益活動を行う。	無	1,000	
	福井県内社会福祉法人連携事業	地域公益事業	—	県内法人と協働して生活困難者へ支援を行う。	無	200	
	小計						15,740
4か年度目	デイサービスセンターつねひさ移転改築事業	社会福祉事業	新規	地域密着型認知症対応型通所介護「デイサービスセンターつねひさ」を移転改築し、利用者に対するサービス向上と職員の業務効率化を図る。	有	28,000	
	社会福祉協働委員会事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員等の地域福祉活動支援を行う。	無	2,000	

	民生委員・児童委員サポート事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員が、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。	無	1,000
	福祉推進員対策事業	地域公益事業	—	福祉推進員の地域福祉活動を支援するため、各地区へ助成する。	無	3,700
	生活困窮者支援事業	地域公益事業	—	生活困窮者等が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。(食料、衣服、日用品等を提供する事業を含む。)	無	1,000
	福祉銀行事業	地域公益事業	—	生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。	無	900
	越前市地域公益活動推進協議会(仮称)事業	地域公益事業	—	市内法人と協働して地域公益活動を行う。	無	1,000
	福井県内社会福祉法人連携事業	地域公益事業	—	県内法人と協働して生活困難者へ支援を行う。	無	200
小計						37,800
5か年度目	デイサービスセンターつねひさ移転改築事業	社会福祉事業	—	地域密着型認知症対応型通所介護「デイサービスセンターつねひさ」を移転改築し、利用者に対するサービス向上と職員の業務効率化を図る。	有	60,800
	社会福祉協働委員会事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員等の地域福祉活動支援を行う。	無	2,000
	民生委員・児童委員サポート事業	地域公益事業	—	民生委員・児童委員が、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。	無	1,000
	福祉推進員対策事業	地域公益事業	—	福祉推進員の地域福祉活動を支援するため、各地区へ助成する。	無	3,700
	生活困窮者支援事業	地域公益事業	—	生活困窮者等が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。(食料、衣服、日用品等を提供する事業を含む。)	無	1,000
	福祉銀行事業	地域公益事業	—	生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。	無	900
	越前市地域公益活動推進協議会(仮称)事業	地域公益事業	—	市内法人と協働して地域公益活動を行う。	無	1,000

	福井県内社会福祉法人連携事業	地域公益事業	—	県内法人と協働して生活困難者へ支援を行う。	無	200
小計						70,600
合計						163,180

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス芦山の設備の老朽化によるサービス利用者の生活環境と職員の労働環境の悪化を考慮し、空調設備の更新と照明のLED化を実施することにした。 ・地域密着型認知症対応型通所介護「デイサービスつねひさ」は、手狭で屋根や外構にも難点があり、利用者へのサービス向上に限界があることから移転改築し、設備等を充実してサービス向上と業務効率化を図ることにした。
② 地域公益事業	<p>地域において生活に困難を生じている方々を漏れなく把握して相談等に応じ適切な窓口につなげる仕組みを充実するため、民生委員等との協働体制の強化として次に掲げる事業を実施することにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の充実が望まれる中、その担い手として期待されている民生委員・児童委員及び福祉推進員の活動量と経済的負担が大きくなってきていることから、その活動費の一部を助成することにした。 ・民生委員・児童委員のOBを中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員の活動等を支援することにした。 ・地域で困りごとを抱えていても相談窓口へつながらない人が多いと思われることから、そのような人のための身近な窓口を設け支援につなげることにした。 ・福祉資金の貸付け手続きを待てない、緊急対応が必要な人に対し応急的に資金を用立てる制度を設けることにした。 ・本会単独の事業の外に、福井県内及び市内の社会福祉法人との協働により地域における公益的な取組を行うことにした。
③ ①及び②以外の公益事業	実施しない。

4. 資金計画

(千円)

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
デイサービス芦山環境整備事業	計画の実施期間における事業費合計		19,440	5,940			25,380	
	財源構成	社会福祉充実残額		19,440	5,940			25,380
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
デイサービスつねひさ移転改築事業	計画の実施期間における事業費合計				28,000	60,800	88,800	
	財源構成	社会福祉充実残額				28,000	60,800	88,800
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
社会福祉協働委員会事業	計画の実施期間における事業費合計	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
	財源構成	社会福祉充実 残額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
民生委員・児童委員サポート事業	計画の実施期間における事業費合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
	財源構成	社会福祉充実 残額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
福祉推進員対策事業	計画の実施期間における事業費合計	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	18,500	
	財源構成	社会福祉充実 残額	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	18,500
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
生活困窮者 支援事業	計画の実施期間に おける事業費合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
	財源 構成	社会福祉充実 残額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
福祉銀行事 業	計画の実施期間に おける事業費合計	900	900	900	900	900	4,500	
	財源 構成	社会福祉充実 残額	900	900	900	900	900	4,500
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
越前市地域 公益活動推 進協議会(仮 称)事業	計画の実施期間に おける事業費合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
	財源 構成	社会福祉充実 残額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
福井県内社会福祉法人連携事業	計画の実施期間における事業費合計	200	200	200	200	200	1,000	
	財源構成	社会福祉充実 残額	200	200	200	200	200	1,000
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

5. 事業の詳細

事業名	デイサービスセンター芦山環境整備事業	
主な対象者	デイサービス利用者	
想定される対象者数	45人（定員）	
事業の実施地域	-	
事業の実施時期	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
事業内容	デイサービスセンター芦山の老朽化した空調設備の更新と全照明のLED化を実施することで、利用者のサービス向上と職員の労働環境の改善を図る。	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	
	2か年度 目	空調設備更新工事を施工
	3か年度 目	照明LED化工事を施工
	4か年度 目	
	5か年度 目	
事業費積算 (概算)	空調設備更新工事 19,440千円	
	照明LED化工事 5,940千円	
	合計 25,380千円	
	合計	25,380千円（うち社会福祉充実残額充当額 25,380千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	-	

事業名	デイサービスつねひさ移転改築事業	
主な対象者	デイサービス利用者（認知症対応型通所介護）	
想定される対象者数	12人（定員）	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成32年4月1日～平成34年3月31日	
事業内容	現在の地域密着型認知症対応型通所介護「デイサービスつねひさ」は、老朽化した既存建物の一部を改造して整備したことから、手狭で屋根や外構にも難点があり、利用者へのサービス向上に限界がある。そのため、デイサービスつねひさを移転改築し設備等を充実して、サービス向上と業務効率化を図るものとする。	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	
	2か年度 目	
	3か年度 目	
	4か年度 目	移転用地を取得
	5か年度 目	施設を建設し、移転
事業費積算 (概算)	用地取得 70,000円×400坪=28,000千円 建築費 600,000円×60坪=36,000千円 設計管理 36,000千円×5%=1,800千円 設備 20,000千円（特殊浴槽含む。） 外構他 3,000千円 合計 88,800千円	
	合計	88,800千円（うち社会福祉充実残額充当額 88,800千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	社会福祉協働委員会事業	
主な対象者	市内の生活困難者	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	市内全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	<p>民生委員・児童委員のOB有志を中心に委員会を組織し、民生委員・児童委員の身近な支援者として相談に応じたり、地域において困りごとを抱える住民を適切な窓口等へつなぐ役割を担うとともに、市社協の応援団として地域福祉活動に活躍していただく。</p> <p>各地区（8民児協） に5人程度配置予定</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	協働委員会委員の活動開始・活動を支援
	2か年度 目	協働委員会委員の活動を支援
	3か年度 目	協働委員会委員の活動を支援
	4か年度 目	協働委員会委員の活動を支援
	5か年度 目	協働委員会委員の活動を支援
事業費積算 (概算)	40千円×50人×5か年=10,000千円	
	合計	10,000千円（うち社会福祉充実残額充当額10,000千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	<p>「地域福祉の担い手の確保及び育成、負担軽減により、地域格差のない支援の充実につなげるよう、担い手それぞれの役割分担や住み分けを明確にしたうえで取り組まれない。」とのご意見をいただいたため、事業を推進する中で、民生委員・児童委員及び福祉推進員との役割分担を明確にしていきたい。</p>	

事業名	民生委員・児童委員サポート事業	
主な対象者	市内の生活困難者	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	市内全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	民生委員・児童委員は、複雑多様化する福祉課題に対応する中で活動量が増加し、経済的にも負担が増えていることから、地域福祉の担い手として安心して活動できるよう、活動費の一部を助成する。その結果、生活困難者への支援の充実につなげたい。	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	市民生委員・児童委員協議会連合会へ活動費の一部を助成
	2か年度 目	市民生委員・児童委員協議会連合会へ活動費の一部を助成
	3か年度 目	市民生委員・児童委員協議会連合会へ活動費の一部を助成
	4か年度 目	市民生委員・児童委員協議会連合会へ活動費の一部を助成
	5か年度 目	市民生委員・児童委員協議会連合会へ活動費の一部を助成
事業費積算 (概算)	各年度 1,000千円×5か年=5,000千円	
	合計	5,000千円(うち社会福祉充実残額充当額5,000千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	「地域福祉の担い手の確保及び育成、負担軽減により、地域格差のない支援の充実につなげるよう、担い手それぞれの役割分担や住み分けを明確にしたうえで取り組まれたい。」とのご意見をいただいたため、事業を推進する中で、福祉推進員及び社会福祉協働委員との役割分担を明確にしていきたい。	

事業名	福祉推進員対策事業	
主な対象者	市内の生活困難者	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	市内全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	福祉推進員は、町内での福祉的見守りという従来の役割に加え、地区自治振興会、区長、民生委員・児童委員等との連携による福祉活動での活躍が期待されており、その活動を支援するため、各地区へ助成する。その結果、生活困難者への支援の充実につなげたい。	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	福祉推進員活動の活性化に資するため、各地区自治振興会へ助成
	2か年度 目	福祉推進員活動の活性化に資するため、各地区自治振興会へ助成
	3か年度 目	福祉推進員活動の活性化に資するため、各地区自治振興会へ助成
	4か年度 目	福祉推進員活動の活性化に資するため、各地区自治振興会へ助成
	5か年度 目	福祉推進員活動の活性化に資するため、各地区自治振興会へ助成
事業費積算 (概算)	地区割	100千円×17地区×5か年=8,500千円
	人口割	2,000千円×5か年=10,000千円
	合計	18,500千円(うち社会福祉充実残額充当額18,500千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	「地域福祉の担い手の確保及び育成、負担軽減により、地域格差のない支援の充実につながるよう、担い手それぞれの役割分担や住み分けを明確にしたうえで取り組んでいただきたい。」とのご意見をいただいたため、事業を推進する中で、民生委員・児童委員及び社会福祉協働委員との役割分担を明確にしていきたい。	

事業名	生活困窮者支援事業	
主な対象者	市内の生活困窮者	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	市内全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	<p>現在市から受託している「生活困窮者自立相談支援事業」の窓口は、JR武生駅前の市福祉健康センター（アルプラザたけふ4階）に1ヶ所設置となっているため、相談に行きたくても行く手段がないなど生活に困っていても相談までつながらない人がいると考えられる。</p> <p>そのような人が身近で安心して助けを求めに駆け込むことができる窓口を地域に置き、市社協の様々な支援につなげる。</p> <p>平成27年度に開始した食料、衣服、日用品等を提供する事業も本事業に含むものとする</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	相談窓口を増設、相談者へ食料等を緊急支援
	2か年度目	相談者へ食料等を緊急支援
	3か年度目	相談者へ食料等を緊急支援
	4か年度目	相談者へ食料等を緊急支援
	5か年度目	相談者へ食料等を緊急支援
事業費積算 (概算)	各年度 1,000千円×5か年=5,000千円	
	合計	5,000千円（うち社会福祉充実残額充当額 5,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	本事業へのご意見はなかったが、今後必要に応じて地域協議会からご意見をいただくことにする。	

事業名	福祉銀行事業	
主な対象者	市内の生活困窮者	
想定される対象者数	150人	
事業の実施地域	市内全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	<p>生活困窮者自立相談支援事業では、金銭の給付や貸付けの制度がなく、生活福祉資金貸付制度や民生金庫は、添付書類や連帯保証人が必要であったり、貸付けまで一定期間を要するなど緊急対応が困難な制度になっている。</p> <p>そのため、生活困窮者で応急的に資金が必要な場合に連帯保証人を求めずに一定額を用立てる制度を設ける。</p> <p>なお、返済は金銭によるほか指定する奉仕活動への従事によることも可能とする。</p> <p>(貸付けにあたっては、民生委員、福祉推進員、協働委員等の助言を得るものとする。)</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	事業要件等整備、緊急貸付けを実施
	2か年度目	緊急貸付けを実施
	3か年度目	緊急貸付けを実施
	4か年度目	緊急貸付けを実施
	5か年度目	緊急貸付けを実施
事業費積算 (概算)	30千円×30件×5か年=4,500千円	
	合計	4,500千円(うち社会福祉充実残額充当額4,500千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	本事業へのご意見はなかったが、今後必要に応じて地域協議会からご意見をいただくことにする。	

事業名	越前市地域公益活動推進協議会（仮称）事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	越前市内に事業所を置く社会福祉法人が新たな協力関係を築き、社会福祉法人に対する市民の信頼を確保するため、趣旨に賛同する法人で協議会を設置し「地域における公益的な取組」をより効果的に実施する。（本会が協議会の事務局を担う。）	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	協議会を発足して協議の上、「地域における公益的な取組」を開始
	2か年度 目	「地域における公益的な取組」を実施
	3か年度 目	「地域における公益的な取組」を実施
	4か年度 目	「地域における公益的な取組」を実施
	5か年度 目	「地域における公益的な取組」を実施
事業費積算 （概算）	各年度 1,000 千円×5 か年=5,000 千円	
	合計	5,000 千円（うち社会福祉充実残額充当額 5,000 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	<p>「貴法人が、市内の社会福祉法人が協働して公益取組を実施していく際の受け皿を創造すべく、「越前市地域公益活動推進協議会（仮称）事業」を提案していただいたことに敬意を表します。しかしながら、市内の社会福祉法人の連携による地域公益取組がより効果的に実施されるためには、本事業に対する市民ならびに他法人の理解と協力が不可欠です。そのため、利用者代表、支援団体代表、福祉行政で構成する当協議会における調査、研究や調整力を適切に活用していただきたい。例えば、異業種、多職種のネットワーク強化につながる研修から取り組むなど、当協議会の意見を反映した事業とすることにより、地域公益性を確保し、市内全ての社会福祉法人の参加を得るよう努めていただきたい。」とのご意見をいただいたことから、取組内容の決定及び実行にあたり、地域協議会との連携を図っていききたい。</p>	

事業名	福井県内社会福祉法人連携事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業内容	福井県社会福祉協議会が主体となって設立する「福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会」に入会し、県内社会福祉法人が連携して地域に貢献するしくみに参画する。(想定事業：生活困難者相談支援事業)	
事業の実施スケジュール	1か年度目	協議会に加入し、「県内社会福祉法人地域貢献連携事業」を開始
	2か年度目	「県内社会福祉法人地域貢献連携事業」を実施
	3か年度目	「県内社会福祉法人地域貢献連携事業」を実施
	4か年度目	「県内社会福祉法人地域貢献連携事業」を実施
	5か年度目	「県内社会福祉法人地域貢献連携事業」を実施
事業費積算 (概算)	各年度 200 千円×5 か年=1,000 千円	
	合計	1,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 1,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	本事業へのご意見はなかった。	

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

本年度に本会の中・長期の経営計画を策定することにしており、社会福祉充実計画に当該経営計画の内容を反映する必要があるため